

行政の窓

林野庁の平成27年度補正予算・平成28年度当初予算について

平成27年度の林野庁補正予算は、平成28年1月20日に成立し、合板・製材生産性強化対策事業などが実施されます。また、平成28年度林野庁予算は、平成27年12月24日に閣議決定され、予算額は2,933億円（対前年度比101.0%）となっています。

国では林業の成長産業化に向け、TPPによる新たな国際環境の下で生産性の向上を図るための合板・製材工場の整備と、それらに向けた原木の安定供給対策を一体的に推進するほか、川上から川下まで木材の安定供給体制の構築を図るための施設整備への支援などの総合的な取組や、新たな木材需要の拡大に向けた取組などを進めていくこととしており、道としてもこうした国の政策や予算を活用し、森林資源の循環利用を推進していく考えです。

《平成27年度補正予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
合板・製材生産性強化対策事業 (290億円) ※国全体の予算額	生産性向上等体質強化のための合板・製材工場等の整備と原木を安定的に供給するための間伐材の生産及び路網整備等を一体的に推進します。	国産材の供給・利用量の増加 <2,174万 ^m (H25) →3,900万 ^m (H32)>	1. 木材加工流通施設等整備 2. 間伐材生産・路網整備
地域材利用拡大・緊急対策事業 (18億円) ※国全体の予算額	山村地域の重要な産業である林業・木材産業を活性化するため、地域材の需要を増大させる総合的な取組を支援します。	国産材の供給・利用量の増加 <2,174万 ^m (H25) →3,900万 ^m (H32)>	1. 地域材利用の木材関係者等への支援対策 2. 木材の新規用途の導入促進事業 3. 広葉樹材の活用によるしいたけ生産支援対策

《平成28年度予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
次世代林業基盤づくり交付金 (61億円) ※国全体の概算決定額	需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給、木材利用の拡大を実現するため、間伐・路網整備やCLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設等の整備などを総合的に支援します。	国産材の供給・利用量の増加 <2,174万 ^m (H25) →3,900万 ^m (H32)>	1. 次世代木材生産・供給システム構築事業 (1) 用途別の需要に的確に対応できる木材のサプライチェーンを構築するための路網整備、間伐材の伐倒・搬出支援等 2. 森林・林業再生基盤づくり交付金 (1) 木造公共建築物や木質バイオマスの供給・利用を促進する施設の整備 (2) 地域材を利用したCLT等を製造する木材加工流通施設の整備 (3) 高性能林業機械の導入、特用林産物の生産基盤の整備など
新たな木材需要創出総合プロジェクト (12億円) ※国全体の概算決定額	木材利用が低位な都市部の建築物等における木質化を推進するための製品・技術の開発・普及や、木造建築物・木製品・木質バイオマスなど様々な分野での地域材利用の拡大により、新たな木材需要を創出します。	国産材の供給・利用量の増加 <2,174万 ^m (H25) →3,900万 ^m (H32)>	1. 都市の木質化等に向けた新たな製品・技術の開発・普及 2. 地域材利用促進

※詳細については、次の林野庁HPをご参照ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/27hosei.html>

(平成27年度補正)

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/28kettei.html>

(平成28年度当初)

(水産林務部 林務局 林業木材課 林業木材グループ)